

これは守りたい！ スロープレーを防ぐ7つの工夫

『ゴルフルールを分かりやすく簡単にして、プレー時間のスピードアップを図る』目的で、2019年1月1日からルールが大幅に改正されました。その一つが、パットした球がホールに立てられた旗竿に当たっても罰がつかないルールで、ピンの抜き差しの時間をカットしたわけです。

他にもプレー時間を短縮できるちょっとした工夫があります。



① ポケットの中に予備球を持つ

OBした時などカートに球を取りに行く時間が省けます。

② 暫定球のプレー

打った球がOBや崖下、ラフなどで紛失の可能性があると思われるときは、暫定球を打っておきましょう。この時、「暫定球を打ちます」と宣言することを忘れずに。

③ レディーゴルフの実践

ホールから遠いプレーヤーから球を打つ“遠球先打”が原則ですが、例えば球を探している間に他の人がプレーできる準備が整ったら、打つ順番を変えて先にプレーしましょう。

④ 2打目以降は数本のクラブを持っていく

2打地点や3打地点に行くときは、数本のクラブを持っていきましょう。残り距離を狙うクラブのほか、グリーンを外した時に使うウェッジやパターも持っていると、カートに戻ることなくホールアウトできます。最近では2打地点からのクラブを入れられる小さなゴルフバックも販売されています。

⑤ カニの横歩き禁止

カート道とは反対側の2打地点から打った人が、フェアウェイを横切ってカートに戻るシーンを見かけます。2打目以降、打ったらカートに戻るのではなく、歩ける人はグリーンに向かって歩いて行きましょう。カートも前へ進めておくともスムーズです。

⑥ レーキを持ってバンカーに入る

バンカーから打つときは、必ずバンカーレーキを持っていきましょう。打った後にレーキを取りに行く時間が省けます。

⑦ 素早くグリーンを空ける

グリーン上でスコアをつけていませんか？ グリーンが空くのを後続組は待っています。プレーが終わったらグリーンを早く離れ、カートで次のホールに向かいましょう。カートも次のホールに向かう停止位置まで進めておくことを忘れずに。

前の組を水先案内人として、付かず離れず、一定の“流れ”に乗ってゴルフを楽しみましょう。